

✖ 水濡れ

濡れた紙は乾かしても元に戻りません。カビの原因にもなります

- 👉 雨の日に本を持ち運ぶ場合は、ビニール袋などに入れ、濡らさないようにしましょう
- 👉 飲食や入浴をしながら本を読むのはやめましょう



ペットボトルの水滴や加湿器の水蒸気、窓ガラスの結露などで濡れてしまうこともあるので注意



✖ ページ破れ、切り取り、噛みあと

一部が欠けてしまうと、他のページに問題がなくても棚に戻すことができません

- 👉 小さな子どもやペットが本を噛んだり、破ったりする可能性があります。本は、いたずらされないような場所で保管しましょう



自分で直さないで!

セロハンテープやのりなどを使用した修理は、劣化の原因となります。破れてしまった部分も含めて図書館へお持ちください



図書館からのおお願い



これ以上
かわいそうな本を
増やさないで...

市の図書館にある資料は、およそ66万2千冊。これらは皆さんの貴重な共有財産です。多くの方に活用していただき、後世まで残しておきたいのですが、資料の状態によってはやむを得ず早々に廃棄しなければならなくなります。

次に手に取る人が気持ちよく利用できるよう、資料は大切に取扱いってください。

✖ 折り目

しおり代わりにページの端を折るのはやめましょう。また、バッグの中で他の荷物に本が押され、本に折り目がついてしまうことがあるので注意しましょう

✖ 書き込み

図書館の本に落書きや書き込みをすることはやめましょう。また、粘着力が強い付箋の使用は、のりが付着し本を傷めてしまいます



ずっとキレイに使用するために

読書前は、手をしっかりと洗い、よく乾かしてから資料に触れましょう



資料を汚損・破損し、利用ができなくなった場合には、弁償となります。修理可能な場合もありますので、誤って本を破損してしまったら、返却の際に図書館職員にお知らせください

問合せ 中央図書館へ ☎2954-4646

